



下関市菊川町でキャベツの排水対策モデル実証ほを設置

下関農林事務所農業部

下関市は、キャベツの指定産地で、加工・業務用キャベツにも取り組んでいます。先日、設立された山口県加工・業務用キャベツ等生産出荷連絡協議会の活動として、排水対策を徹底するための水田転換モデル実証ほを下関市菊川町に設置しました。

実証ほは、「レーザーレベラー」という機械を使って、0.2%傾斜（100mで20cm勾配）を付けます。排水性を良くすることで、作物を湿害から防ぎ、単収向上はもちろん、より一層の機械作業効率の向上や除草剤の効果向上も期待できます。

さて、0.2%傾斜を付けるためには、7月21日（土）に「ボトムプラウ」で麦稈や雑草等の反転鋤き込みし、土がよく乾いた7月28日（土）に、「バーチカルハロー」で均平・鎮圧した後に、「レーザーレベラー」による施工を行いました。

天候に恵まれた中、関係者や生産者が集まり、作業の様子を見学しました。

下関農林事務所は、関係機関と連携して、安定生産のため課題解決に向けた取組を支援していきます。



業者から説明を受ける見学者



レーザーレベラー

《お問い合わせ先》

下関農林事務所農業部

TEL : 083-766-1206 FAX : 083-766-1184 メール : a17107@pref.yamaguchi.lg.jp